

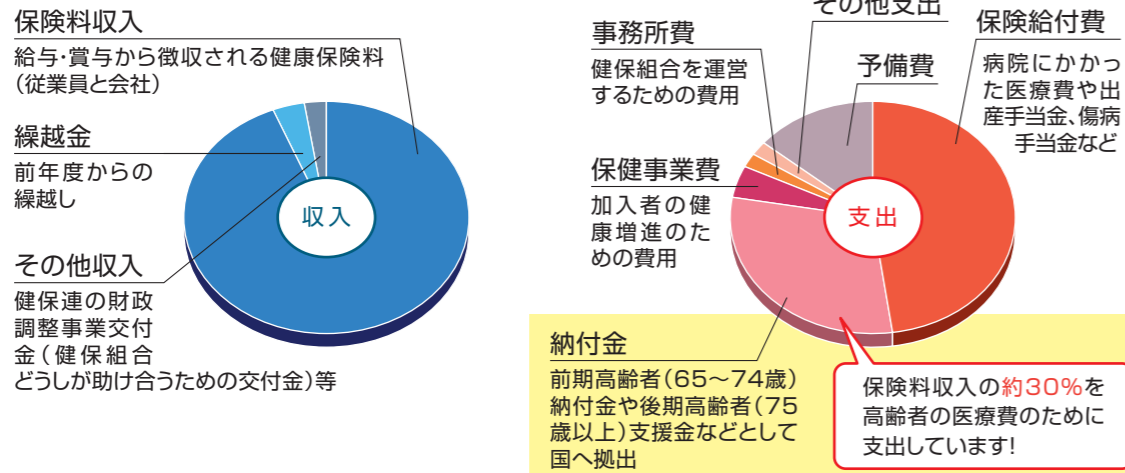
2019年度 予算報告

健保組合の財政について
 健保組合の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までで、その年の支出はその年の収入でまかなう単年度会計となっています。

2019年度予算は、すべての国内関係会社を統合後、初めての予算となり、予算規模は、収入支出163億8276万円と村田製作所単体の時に比べ、3倍になります。特に、支出における保険給付費が77億7341万円(前年度比18億8805万円増)となり、支出に占める割合が昨年度の41%から47%へと急増します。健保組合は、皆さんからいただく保険料だけで運営していますので、今後も増加傾向が続くと予想される医療費の適正化を図り、これからも健保財政に注視していく必要があります。

健康保険

一般勘定 保険料率:8.2%(据え置き) 負担割合 従業員:3.474% 会社:4.726%(変更なし)



収入		支出	
科目	予算	科目	予算
保険料収入	15,007	保険給付費	7,773
繰越金	500	納付金	4,755
その他収入	876	保健事業費	887
		事務所費	115
		その他支出	307
		予備費	2,546
計	16,383	計	16,383

単位:百万円

介護保険

介護勘定 保険料率:1.20%→1.78%(改定) 従業員と会社で折半して負担

介護保険料は40~64歳の被保険者から健保組合が徴収し、社会保険診療報酬支払基金へ納付します。介護保険料は、市町村が運営する介護医療サービスに使われます。

収入		支出	
科目	予算	科目	予算
介護保険料収入	1,850	介護納付金	1,797
繰越金	1	積立金	40
繰入金	1	予備費	15
計	1,852	計	1,852

単位:百万円

高齢者医療制度を支えるために、皆さんの保険料が使われています

被保険者の皆さんが納める保険料は、皆さんとご家族の保険給付費のほかに、

1 後期高齢者医療制度 や 2 前期高齢者医療制度 の

医療費をまかなうための納付金として多く使われています。

納付金が、ムラタ健保組合の支出に占める割合は保険料収入の約30%に達しています。今後、高齢化社会の進展とともに、この納付金の支出は更に増大し、健保組合の財政を悪化させる大きな要因になることが予想されます。



1 後期高齢者医療制度

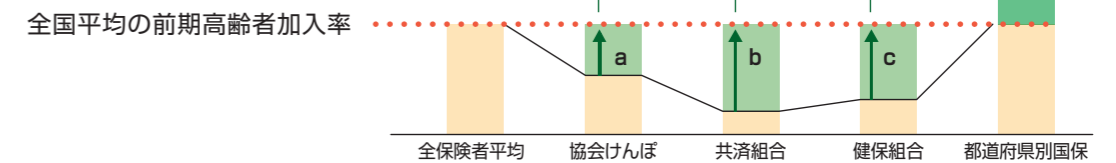
75歳(寝たきり等の場合は65歳)以上の方が加入する医療制度です。財源は、本人の医療費自己負担(1割)のほかは公費(5割)で、残りを全国の健保組合などが後期高齢者支援金(4割)として納付しています。

2 前期高齢者医療制度

前期高齢者(65~74歳)の多くは、定年などで会社を退職した後に国民健康保険へ加入するため、国民健康保険では前期高齢者の加入率が高くなり、前期高齢者の医療費負担は被用者保険*より大きくなっています。そこで、国民健康保険と被用者保険間で前期高齢者の医療費負担の不均衡を解消するため、各保険者の前期高齢者加入率に応じて負担を調整する仕組みが導入されています。

*被用者保険とは、ムラタ健保組合のように、職場で雇用されている従業員が加入する健康保険です。

各保険者の前期高齢者加入率により調整



$$\text{前期高齢者納付金} = \text{ムラタ健保 前期高齢者1人当たり給付費} \times \text{ムラタ健保加入者(本人+家族)} \times \left[\text{前期高齢者加入率 全国平均} - \text{前期高齢者加入率 ムラタ健保組合} \right]$$

前期高齢者納付金は、前期高齢者が受診された医療費にムラタ健保総加入者数を乗じて決まります

いきいきと元気な健康長寿生活を目指して!

被保険者とご家族の皆さんが病気にならないような健康作りに努めていただくことで、医療給付費だけでなく、健保組合が納める納付金の負担も抑えることができます。

- 食事、運動、睡眠といった良い生活習慣を継続しましょう
- 毎年必ず健康診断を受け、病気の早期発見や早期治療に努めましょう
- 同じ病気で複数の医療機関を転々と渡る「はしご受診」はやめましょう
- 休日夜間の受診はなるべく控えましょう
- ジェネリック医薬品を上手く活用しましょう